

家庭科学習指導案

令和5年11月10日 5校時
6年2組 指導者 櫻井 千絵
場所 木の部屋

【授業の視点】

快適に住むための清掃の工夫を考えるために、よりよい清掃の仕方についてアイデアを交換し合い、「全力大そうじ」の計画書を作る活動を取り入れたことは有効であったか。

I 題材名 クリーン大作戦

II 考察

1 学習指導要領上の位置付け

内容『B 衣食住の生活』

(6) 快適な住まい方

- ア (イ) 住まいの整理・整頓や清掃の仕方を理解し、適切にできること。
- イ 季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方を考え、適切な住まい方を工夫すること。

2 題材について

本題材では、身近な場所の清掃について扱い、状況に応じた清掃の仕方を理解し、住まいの清掃を工夫して実践する学習を設定した。その価値は以下の通りである。

ア (知識及び技能)

- ・汚れの種類や汚れ方に応じた清掃の仕方がわかり、状況に応じた清掃の仕方を理解することができる。
- ・状況に応じて、適切に清掃することができる。

イ (思考力、判断力、表現力等)

- ・身近な場所の清掃について課題に気付くことができる。
- ・状況に応じた清掃の仕方を考えることができる。
- ・清掃の仕方を見直し、工夫することができる。

ウ (学びに向かう力、人間性等)

- ・家族の一員として、住生活をよりよくするために主体的に工夫しようとしている。

この学習は、今後、第6学年「持続可能な社会を生きる」の学習へ発展する。

3 本題材に関わる児童の実態

(1) これまでの学習

児童は、学校生活において、清掃活動を給食後の15分間で行っている。5年「整理・整とんで快適に」では、身の回りを整理整頓すると気持ちよく生活できるだけでなく、持ち物が確認でき、同じものを買ってしまう前に気づいたり、再利用できるものが見つかったり、資源の無駄遣いを減らすことができることを学習してきた。

(2) 本題材に関わる実態

【知識及び技能】

多くの児童が、毎日の清掃時間に一生懸命清掃に取り組んだり、家でも学校でも身の回りの整理・整頓に心がけ生活したりしている。そのため、汚れに気付くことも多いようである。また、清掃道具に関する知識も豊富で、汚れに合った清掃の仕方を工夫して行っている児童もいる。しかしその一方で、その場に合った清掃道具を選べなかったり、正しい清掃方法が分からなかったりする児童も少なくない。

【思考力、判断力、表現力等】

事前調査の結果によると、ほとんどの児童が「学校内で汚れが気になるところはある」と回答している。しかし、汚れの種類によって清掃の仕方や用具を工夫している児童はあまり多くない。また、家の汚れに関しては「家の中の汚れが気にならない」と回答している児童が4割ほどいる。本題材では、よりよい清掃の仕方について調べ、話し合う活動を通して、身近な汚れに気づき、清掃の仕方や用具の工夫が必要であることに気付かせたい。そして学習したことが実践力として家庭や今後の生活に生かせるようにしたいと考える。

【学びに向かう力、人間性等】

事前調査の結果によると、9割以上の児童が普段から学校の清掃に積極的に取り組んでいると答えている。また、家庭でも清掃に取り組んでいる児童は多く、清掃への関心は高いことがわかる。

III 目 標

- (1) 住まいの清掃の仕方について理解し、適切にできる。
- (2) 快適な住まい方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けることができる。
- (3) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。

IV 題材の評価規準

評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 住まいの清掃の仕方を理解しているとともに、適切にできる。	① 住まいの清掃の仕方について問題を見いだして課題を設定している。 ② 住まいの清掃の仕方について考え工夫している。 ③ 住まいの清掃の仕方について実践を評価したり、改善したりしている。 ④ 住まいの清掃の仕方について考えたことを表現し	① 家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。 ② 快適な住まい方について課題解決に向けた活動を振り返って改善しようとしている。 ③ 快適な住まい方について

	ている。	工夫し、実践しようとしている。
--	------	-----------------

V 指導方針

「知識及び技能」

○汚れの種類や汚れ方に応じた清掃の仕方があることに気付き、適切に清掃できるようにするために、学校内の汚れを調査し、清掃する活動を設定する。その際、使用する用具や洗剤等の安全な取り扱い方に留意する。

「思考力、判断力、表現力等」

○児童の興味・関心を授業に生かし、題材を見通した課題づくりをするために、本題材の導入において、汚れや清掃の必要性について一人一人が疑問を出し合う活動を設定する。

○快適に住むための清掃の工夫を考えるために、校内の清掃活動を行って分かったことや家族との対話によって分かったことなどを「みんなの知恵袋」に集約する。「みんなの知恵袋」は、オクリンクやグループ発表などにより共有する活動を設定する。

○持続可能な社会の構築等の視点から、清掃の工夫を考える際には環境への配慮にも気付くようにするために、「みんなの知恵袋」には節水や洗剤量の工夫なども取り入れるようにする。

「学びに向かう力、人間性等」

○学んだことを家庭で主体的に実践するために、本題材で学習したことを生かしながら年末の大掃除に向けた計画を立てるようにする。

VI 指導と評価の計画 (全7時間計画、本時は6/7)

過程	時間	○ねらい めあて	☆振り返り (単位時間の終わりに目指す児童の姿に基づく意識)	評価項目(評価方法)		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
つかむ	1	○学校内の汚れ調査を通して清掃への関心を高め、題材の学習への見通しをもつことができる。 学校内のよごれウォッチングをして、学習の見通しをもとう そうじの知恵を出し合っ て、「全力大そうじ」をしよう	☆思った以上に汚れていた。 ☆これから掃除の仕方について考えていきたい。		○思判表① (活動・記述)	・主体態① (活動・発言)
追究する	2	○学校内の汚れに合わせた清掃の計画を立てることを通して、汚れの種類や汚れ方に応じた清掃の仕方を考えることができる。	☆汚れの種類によってそうじの仕方が異なることが分かった。 ☆あの道具を使ってみよう。身近にある物も道具に使えそう。		○思判表② (発言・オクリンク)	

		学校内のよごれに合わせたそうじの計画を立てよう				
	3	○計画に基づき、学校内の清掃を実践することができる。 学校内のよごれに合わせて、そうじをしよう	☆高い所のほこりは、はたいてそうじをしたよ。 ☆かたい場所はかたい道具を使ってみたよ。	○知技① (活動)		
ま と め る	4 5	○よりよい清掃の仕方について気付いたことや考えたことを「みんなの知恵袋」にまとめることができる。	☆家族に教わったコツをみんなに伝えるよ。 ☆窓そうじにはこの方法がおすすめだから「みんなの知恵袋」で発表しよう。	○思判表③ (発言・オクリンク)	・主体態② (発言・ワークシート)	
	6 本時	○よりよい清掃の仕方についてアイデアを交換し合い、「全力大そうじ」の計画書を作ることを通して、快適に住むための清掃の工夫を考えることができる。 「みんなの知恵袋」を生かして「全力大そうじ」を計画しよう	☆家のよごれは、友達がおすすめてくれたこの道具を使うことにしたよ。 ☆全力大そうじが楽しみな。	○思判表② (発言・ワークシート)		
		家庭実践				
	7	○「全力大そうじ」の実践を発表することを通して、題材全体の学習を振り返ることができる。 「全力大そうじ」の実践を発表し、学習をふり返ろう	☆家族と一緒に掃除をしたことを発表したよ。 ☆今度は違う方法でやってみたいな。	○思判表③ (発言) ○思判表④ (発表)	・主体態② (発言・ワークシート) ・主体態③ (発言・ワークシート)	
評価テスト		学習内容の定着を確認する。		○知① (ペーパーテスト)		

VII 本時の学習（本時は6/7）

1 ねらい

よりよい清掃の仕方についてアイデアを交換し合い、「全力大そうじ」の計画書を作ることを通して、快適に住むための清掃の工夫を考えることができる。

2 準備・資料

教師：教科書、タブレット、

児童：教科書、ノート、「全力大そうじ」の計画書、タブレット、

「みんなの知恵袋」発表資料

3 本時の展開

学習活動と子供の意識	時間	指導上の留意点・支援	評価項目
1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習活動への意欲を高めるために、前時の学習活動を振り返り、学校内で行った清掃ではよかった点や改善点があり、よかった点は「みんなの知恵袋」に集約したことの想起を促す。 ・本時のめあてを明確につかむために、学習したことを家庭で生かしていくという題材目標を確認し、家庭での清掃の仕方をより工夫したいという気持ちを高めるようにする。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">「みんなの知恵袋」を生かして、「全力大そうじ」を計画しよう</div>			
2 「みんなの知恵袋」を発表し合う。	20分	<ul style="list-style-type: none"> ・「全力大そうじ」へ向けた自分の考えを広げたり、深めたりするために、前時までにまとめた「みんなの知恵袋」を発表し、アイデアを交換し合うことを伝える。その際、自分の体験に基づき、特に工夫したい知恵について、友達にアドバイスするよう助言する。 ・「みんなの知恵袋」は以下6つについてスライドや模造紙等で集約しておく。 <ol style="list-style-type: none"> 1 はきそうじの知恵袋 2 ふきそうじの知恵袋 3 水回りそうじの知恵袋 4 環境を考えたそうじの知恵袋 5 時短そうじの知恵袋 6 洗剤工夫の知恵袋 	
3 「全力大そうじ」の計画書を作成する。	15分	<ul style="list-style-type: none"> ・「全力大そうじ」が快適に住むためのよりよい清掃となるために、「みんなの知恵袋」の発表から得たアイデアを生かし計画書を作成するよう助言する。その際、学習活動2の発表で興味をもったことや質問したいことなどがあれば、友達と意見やアイデアを交換するよう伝える。 ・家庭で取り組む清掃場所については、予め家族と話し合っておくが、友達との意見交換を生かして変更したり、追加したりしてよいことを伝える。 	

		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価項目 思判表② 住まいの清掃の仕方について考え工夫している。 （発言・「全力大そうじ」の計画書）</p> </div>
4 本時の振り返りをする。	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなの知恵袋」を生かしてよりよい清掃の工夫を考え、「全力大そうじ」の計画書ができたことに気付くことができるようにする。